

日韓トンネル通信

編集/発行

特定非営利活動法人
日韓トンネル研究会

本部事務局：東京都港区麻布台1-1-20
〒106-0041 麻布台ユニハウス513
TEL 03-3589-4188 FAX 03-5570-1634
E-mail office@jk-tunnel.or.jp

九州支部：0120-09-2188

(報告)九州支部の第4回通常総会が行われました。

九州支部の第4回通常総会が、8月2日(木)、福岡市の西鉄グランドホテルで開催



吉田信夫支部長

されました。まず吉田信夫支部長が開会の挨拶で「参加者が以前と比べて増えています。小さな芽ですが皆様のご協力でこれを大きく育てたい」と抱負を述べた。

次に来賓として出席した野沢太三会長が挨拶した。

【挨拶要旨】 昨年は釜山市長や慶尚南道知事を表敬訪問しましたが、今年に入り韓国側では日韓トンネルがしばしば話題になっています。このプロジェクトが両国の絆として意味のある存在になることを願っています。最近では韓国から日本を訪れるお客様が日本から韓国に行く数を上回るなどの明るい話題が出てきています。このような日韓交流拡大という大きな流れの中で日韓トンネルがだんだん具体性を帯びてくるのが大事ではないかと思っています。私達の役目は、日韓トンネルが両国を結ぶ主要な外交的・経済的課題になったときに直ちに対応できるよう、基礎的な調査を重ねて準備することとっております。地元である九州の皆様のご活躍を祈念致します(以上、来賓挨拶)。



議事に入り、議長として吉田信夫支部長が選出された。まず平成18年度の事業報告として下記13項目が報告された。

- ①現地視察(地表踏査) 対馬、壱岐、呼子、唐津の地質概略把握
- ②佐賀県知事表敬訪問
- ③福岡県知事表敬訪問
- ④韓国側関連団体表敬訪問
- ⑤社団法人韓日海底トンネル研究院との共同調査・研究の合意書締結
- ⑥インフラテック2006展示会に出展
- ⑦ユーロトンネル社表敬訪問と現地視察
- ⑧中華人民共和国亜太交流協会関係者来日
- ⑨ルート検討委員会の発足と開催
- ⑩韓日トンネル研究開発セミナーに参加
- ⑪日韓トンネル計画の講演
- ⑫韓日国際シンポジウムに参加

⑬現地視察（地表踏査）東松浦、壱岐、
対馬の地形・地質調査

次に平成18年度の事業会計収支決算の
報告があり承認された。

平成19年度事業計画は、社会教育事業
として各種シンポジウムの参加、調査・研
究事業として日韓トンネルルート案の一本
化や建設資金調達方法や社会経済的役割な
どの研究および韓国沿岸域の海洋調査デー
タの収集、また国際協力事業として韓国側
関連団体との共同研究などを予定してい
る。情報収集・提供事業としてはホーム
ページの充実や完成予想図の制作、刊行紙
の発行事業内容として日韓トンネル年報や
日韓トンネル通信の発行が審議され承認さ
れた。次に平成19年度事業会計収支予算
案を審議し承認された。最後に平成19年
度役員の変更案を審議し承認され、総会を
終えた。

議事終了後、野澤太三会長が「韓国訪問
およびユーロトンネル視察などを踏まえ
て」という題で会長報告を行った。



【会長報告要旨】

昨年10月に韓国
で開かれた展示会
「インフラテック
2006」に出展し研
究成果を展示し、パンフレットなどを配布
した。展示会后、日韓トンネルの地元とな
る釜山市と慶尚南道に行き、釜山市長と慶
尚南道知事を表敬訪問した。釜山市長は日
韓トンネルについて強い関心を示し、これ
が今年5月に釜山市で開かれた日韓トンネ

ルに関するシンポジウムのきっかけとなっ
たようだ。慶尚南道では日韓トンネルを盛
り込んだ地域開発計画を作成している。

韓国訪問で浮かび上がったことは、日韓
トンネルのルート案の一本化の必要性であ
り、これについて日本側としてはできるだ
け協力するが韓国のイニシアチブが大切で
ある。また地質・設計・施工という技術面
だけでなく、日韓トンネルの使い方や運用
面の検討を北朝鮮や中国、ロシアを含めた
視野に立って検討することも今年度の重要
課題となろう。

運用面で非常に参考となるのがユーロト
ンネルである。昨年秋に視察したがEU強
化のインフラとして立派に機能しているこ
とがわかった。その使い方は①シャトル列
車、②ユーロスター、③貨物列車、の3通
りがある。シャトル列車とユーロスターは
利用が拡大しているが貨物列車はふるわな
い状態である。日韓トンネルは中国を含む
ため貨物の比重が高いと予想されるが、
ユーロトンネルのよい面も悪い面も参考に
する必要がある。トンネルの形状も複線型
とするか単線並列型とするかなど、もっ
とも効率のよいあり方の研究が求められる。

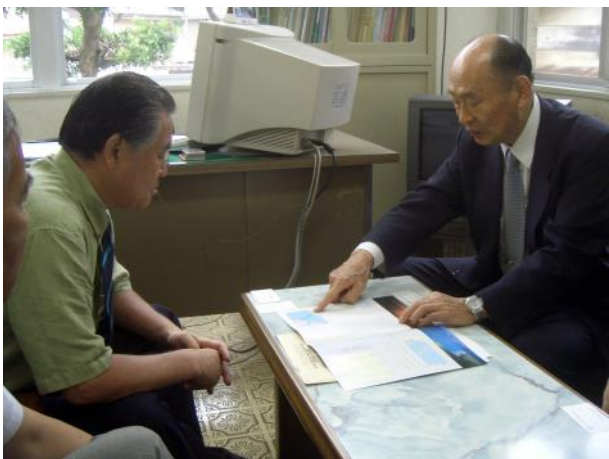
今年5月には、日韓トンネルについて賛
否両論が交錯する釜山市でシンポジウム
「日韓海底トンネルと釜山の選択」が開か
れた。釜山市長が冒頭挨拶で「日韓トンネ
ルに関するさまざまな意見を持続的に集約
しながら釜山の立場を構築したい」と述べ
た。シンポジウムは3時間にわたり基調演
説、討論、質疑応答が繰り広げられ大変盛
り上がった会となった。

(報 告)野沢太三会長が壱岐市、対馬市の関係者を表敬訪問しました。

去る8月3日(金)、野沢太三会長は日韓トンネルの地元である長崎県の壱岐市、対馬市を訪れ、市長など関係者を表敬訪問した。野沢会長は各訪問先で会長就任の挨拶をし、研究会の活動経過や韓国内での日韓トンネルに対する関心の高まりなどについて語った。また竹島領有問題やユーロトンネルの事例などにも触れながら、日韓両国の絆を強め中国やロシアにまでつながる日韓トンネルを壱岐、対馬など地元のご理解とご賛同のもとに日韓両国の国家プロジェクトとして育成したいと語り協力を要請した。



壱岐市 長田徹市長、壱岐市議会 深見忠生議長を表敬訪問



壱岐市商工会 長田玄一郎会長を表敬訪問



対馬市 松村良幸市長を表敬訪問



長崎県対馬地方局 江口正昭局長を表敬訪問



対馬市商工会 浦田一朗会長を表敬訪問

(記事紹介) 日韓トンネル計画に関連する新聞・雑誌掲載記事を紹介します。今回は次の1点です。

・釜山日報 2007年7月17日

시민 절반 “한·일 해저터널, 역사와 무관”

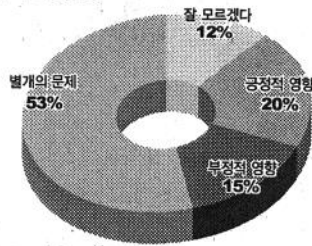
해양대, 시민 600명 설문

한일 간에 거론되고 있는 해저터널 추진문제에 대해 부산시민들은 역사문제와는 별개로 현실적인 접근 태도를 갖고 있는 것으로 조사됐다.

한국해양대학교 동아시아학과 학생 34명은 정치권과 학계에서는 논의 중인 한일 해저터널 문제에 대한 부산시민들의 견해를 직접 들어보기 위해 지난 5월 말부터 2주일에 걸쳐 부산시민을 대상으로 설문조사를 실시했다. 역사, 경제, 사회, 국제관계 등 6개의 분야에 대해 부산시민 각 100명씩, 총 600명을 대상으로 삼았다.

조사결과 부산시민들은 해저터널 문제를 한일간 역사문제와 별개로 생각

한일간 역사가 해저터널에 미치는 영향?



한다는 반응이 많았다. ‘한일 역사가 해저터널 개통에 미칠 영향’에 대해 ‘별개의 문제다(53%)’는 응답이 가장 많았으며, ‘부정적 영향(15%)’ ‘긍정적 영향(20%)’ 등으로 나타났다.

‘역사문제 해결에 도움이 될까’와 관련, ‘그렇다(41%)’와 ‘아니다(40%)’로 팽팽히 맞섰다. 역사문제 해결에 도움이 안된다는 반응은 역

사문제와 해저터널 건설은 별개 문제로, 일본이 역사적 사실을 있는 그대로 인정해야 해결될 것이라는 인식이 많기 때문으로 풀이됐다.

시민들은 또 ‘부산경제에 도움이 될까’라는 질문에 ‘매우 그렇다(12%)’ ‘그렇다(49%)’ 등 긍정적 반응이 많았다. ‘보통이다’는 22%, ‘아니다’와 ‘매우 아니다’는 14%와 3%로 나타났다.

부산시민들은 해저터널의 ‘생태계에 대한 악영향’에 대해 ‘매우 그렇다(21%)’ ‘그렇다(55%)’로 응답, 생태보호 문제를 민감하게 생각하는 것으로 조사됐다. 또 해저터널로 인해 “부산시민의 국제도시 시민으로서의 인식이 높아질 것(63%)”이라는 기대감도 나타났다. 최용오기자 choice@

【翻

釜山日報 2007年7月17日 市民の半分が「日韓海底トンネルは歴史とは無関係」

…海洋大が市民600人にアンケート…

日韓間で論じられている海底トンネル推進の問題に対して、釜山市民は歴史問題とは別に現実的な態度を示しているという調査結果がでた。

韓国海洋大学の東アジア学科の学生34名は、政界と学界で論議中の日韓海底トンネル問題に対する釜山市民の見解を直接聞くため、去る5月末から2週間にわたり釜山市民を対象にアンケートを実施した。歴史、経済、社会、国際関係など6つの分野について釜山市民各100名ずつ、総600名を対象とした。

調査の結果では釜山市民は海底トンネル問題を日韓間の歴史問題とは別に考えているという反応が多かった。「日韓の歴史が海底トンネルの開通に与える影響」について「別の

問題だ(53%)」という回答が最も多く、「否定的な影響(15%)」「肯定的な影響(20%)」などとなった。

「歴史問題の解決に役立つか」に関して、「そうだ(41%)」「違う(40%)」と対立した。歴史問題の解決に役に立たない、という反応は、歴史問題と海底トンネルの建設は別の問題で、日本が歴史的事実をあるがままに認めれば解決するだろうという考えが多いからだと解釈された。

市民はまた、「釜山経済に役立つか」という質問に「非常にそうだ(12%)」「そうだ(49%)」など肯定的な反応が多かった。「普通だ」は22%、「違う」と「非常に違う」は14%と3%となった。

釜山市民は海底トンネルの「生態系に対する悪影響」について「非常にそうだ(21%)」「そうだ(55%)」と回答、生態保護問題を敏感に考えているという調査結果となった。また、海底トンネルによって「釜山市民の国際都市市民としての認識が高まる(63%)」という期待感も表れた。